

2024 年第 35 週の報告です。

今週も**新型コロナウイルス感染症(COVID-19)**は減少しました。警報レベルが続く**手足口病**ですが、定点当たりの報告数は全国で 4.24 から 5.70、京都府でも 3.56 から 5.48 に増加しました。府内地域別でも、先週の警報レベルの地域では今週も継続しており、山城北で定点当たりの報告数が 6.13 に増えて警報レベルになりました。山城南の**水痘**の定点当たり報告数は 0.75 まで減少し、府内では警報レベルの地域はなくなりました。

全数報告対象の感染症は、**結核**が 4 件、**腸管出血性大腸菌感染症**が 1 件報告されました。**日本紅斑熱**が 1 件報告されました。**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症・侵襲性肺炎球菌感染症**と**水痘（入院例）**が各 1 件、**梅毒**が 2 件報告されました。

また、基幹定点から**マイコプラズマ肺炎**が 10 件、眼科定点から**流行性角結膜炎**が 5 件報告されました。

第 27 週（7 月 1 日～）以降減少傾向であった**手足口病**の報告数が 2 週連続で増加しており、注意が必要です。以前罹った型と異なるウイルスに感染すると、何度も罹ることがあります。飛沫や接触で感染するため、咳エチケットや換気、手洗い、うがいを徹底しましょう。感染後 2～4 週間は便中にウイルスが排泄されるといわれています。排泄物は適切に処理してください。基本的には軽い発熱と水疱性の発疹のみで数日で改善しますが、口の痛みで飲水量が減りやすいため脱水に注意してください。まれに髄膜炎や脳炎、心筋炎などを合併し重症化します。高熱が 2 日以上続いたり、頭痛や嘔吐、呼びかけに答えずぐったりしていたりする場合はすぐに医療機関を受診してください。